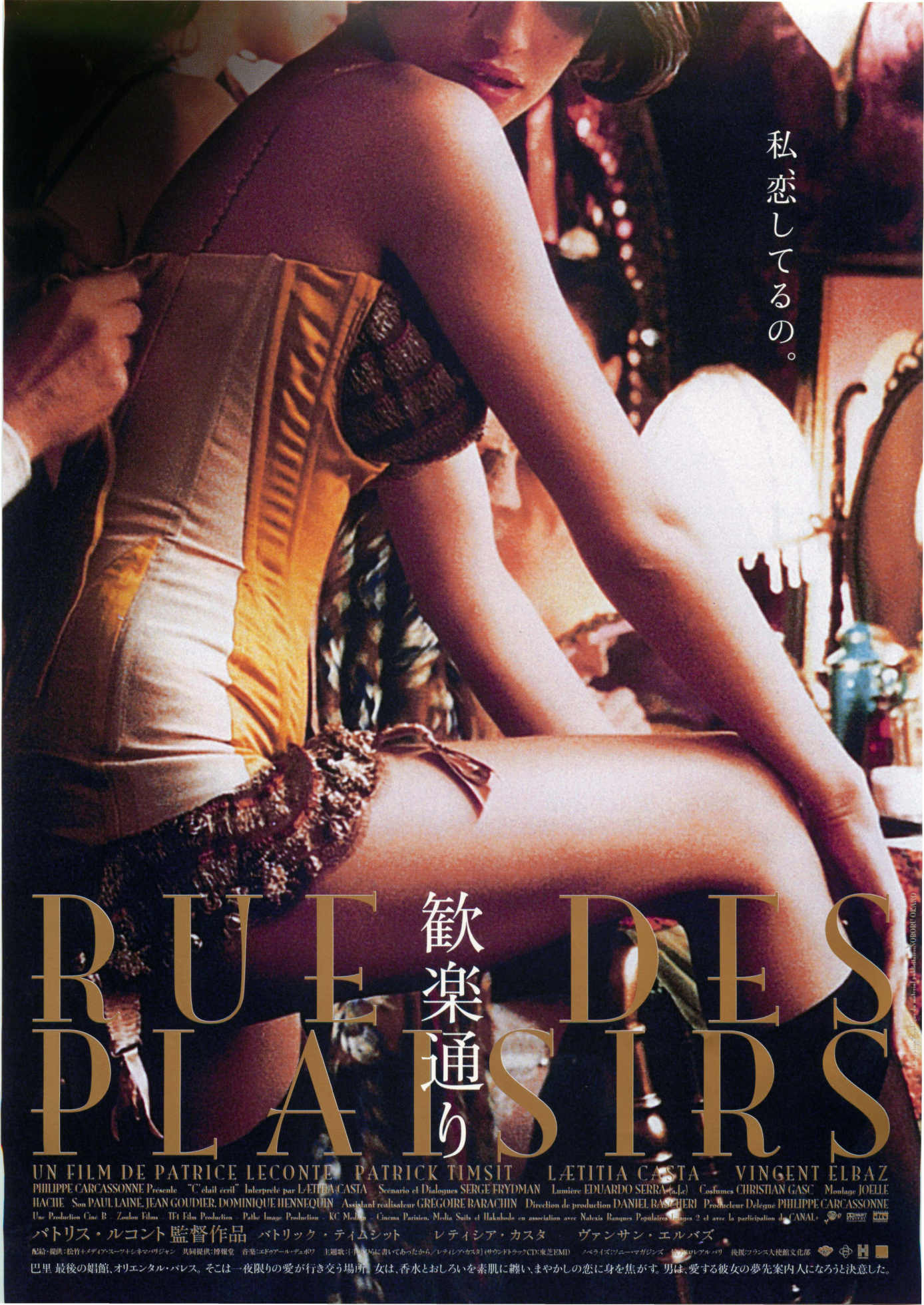

私恋してるの。
RUE DES PLAISIRS
歓楽通り
UN FILM DE PATRICE LECONTE PATRICK TIMSIT LÆTITIA CASTA VINGENT ELBAZ
PHILIPPE CARCASSONNE Présente "C'était écrit" Interprété par LÆTITIA CASTA Scénario et Dialogues SERGE FRYDMAN Lumière EDUARDO SERRA (A.F.C.) Costumes CHRISTIAN GASC Montage JOELLE HACHE Son PAUL LAINÉ, JEAN GOUDIER, DOMINIQUE HENNEQUIN Assistant réalisateur GRÉGOIRE BARACHIN Direction de production DANIEL BASCHERI Producteur Délégué PHILIPPE CARCASSONNE
Une Production Ciné B - Zoulou Films - TF1 Film Production - Pathé Image Production - KC Medias - Cinéma Parisien, Media Suits et Hakuhodo en association avec Natexis Banques Populaires Images 2 et avec la participation de CANAL+
パトリス・ルコント監督作品 パトリック・ティムシット レティシア・カスタ ヴァンサン・エルバズ
配給・提供:松竹+メディアスーツ+シネマ・リジャン 共同提供:博報堂 音楽:エドゥアール・デュポワ 主題歌:「書いてあったから」/レティシア・カスタ(サウンドトラックCD:東芝EMI) ノベライズ:ソニー・マガジンズ 協力:ロレアル パリ 後援:フランス大使館文化部
巴里 最後の娼館、オリエンタル・パレス。そこは一夜限りの愛が行き交う場所。女は、香水とおしろいを素肌に纏い、まやかしの恋に身を焦がす。男は、愛する彼女の夢先案内人になろうと決意した。

愛の名匠パトリス・ルコント監督が誘う、1945年の巴里、夢の娼館オリエンタル・パレス。

『髪結いの亭主』『橋の上の娘』などセンシュアルな映像表現では定評ある愛の名匠パトリス・ルコント監督が、今回あなたを誘うのは、無償の愛と酔いしれるような官能の舞台、1945年の巴里最期の娼館“オリエンタル・パレス”。そこはシャンペンのしぶき、香水とおしろいのかほり、柔肌にしなやかな光沢を放つシルクの下着を纏った客待ちの女たちの陽気な笑い声に満ちた欲望の館。まるで開演を待つバレリーナのように、ビーズのランプシェードの灯りに浮かび上がる、娼婦たちの艶やかな姿態。

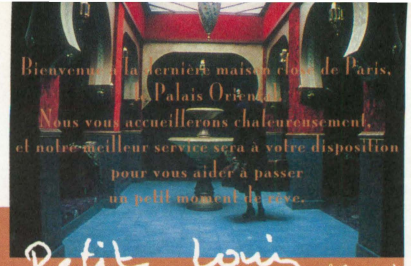
赤いヴェルヴェットの壁、金色の額装の中から妖しく輝く鏡、万華鏡のごとく光を反射するガラスの香水瓶、そして、アルレッティ、ルシエンヌ・ボワイエ、ミスタンゲットらのノスタルジックなシャンソンの歌声。『ムーラン・ルージュ』の楽屋部屋を覗くようなあの時代の色香が、『橋の上の娘』の脚本家と『髪結いの亭主』の撮影・美術セット・スタッフ、そしてルコント監督の強力タッグチームによって見事に再現されている。

YSL最期のミューズ、レティシア・カスタの本格的主演映画。

アンナ・ガリエナ、ヴァネッサ・パラディ、ジュリエット・ビノシュ、シャルロット・ゲンズブールと、ルコント映画を彩る“ファムファタル”の系譜に新たに加わったのが、レティシア・カスタ。引退したイヴ・サンローラン最期のミューズとして知られ、シャネル、ゴルチエ、ウエストウッドらトップメゾンの顔として毎シーズン、コレクションに参加。ロレアル パリ、ダニエル・スワロフスキー、ギャルリー・ラファイエットのイメージキャラクターとしても世界のビルボードを飾り、そればかりかデビュー1年間で世界の一流モード誌40誌の表紙を飾るという偉業を達成。またフランス国民が誇るフランス女性だけが選ばれる名誉ある“マリアンヌ”にも選ばれるなど、レティシア・カスタの存在は、常に大きな話題とともに語られてきた。本格的な主演映画となる 本作では、モーリス・シュヴァリエの往年の名曲「手のひらに書いてあったから」をカヴァーして披露するなど、彼女の持つ存在感の“オーラ”が全編に溢れんばかりだ。信じた愛の行方を全うする感動のラストシーンで見せる彼女の無垢なる美しさは、観る者の心を深く揺さぶるに違いない。

私、恋してるの・・・・薄幸の娼婦マリオンと、数奇な運命を生きたプチ=ルイの、美しくも哀しい愛の物語。

お客と娼婦のアクシデントでこの世に生を授かったプチ=ルイ(パトリック・ティムシット)は、娼館の中だけで育ち、娼婦たちの世話を焼くためだけにその半生を費やしてきたような男である。そんな彼の幼い頃からの夢は、“運命の女の人と出逢って、その人を一生を賭けてしあわせにする”こと。そして彼はまさに夢にまで見た“運命の女”マリオン(レティシア・カスタ)とめぐり逢う。本当の愛もしあわせもまだ知らない薄幸の娘を見つめながら、プチ=ルイは思わず呟く.....あなたをしあわせにします、僕の一生を賭けて.....。それはさながらシラノ・ド・ベルジュラックのような、見返りのない愛の告白だった。この瞬間から、プチ=ルイと娼婦マリオンの、美しくも哀しい愛の物語が紡がれていくのだった.....。



Petit Louis プチ=ルイ

僕の一生を賭けて、君をしあわせにするよ。
でも誤解しないで欲しい。
君からの愛を望んでいるわけではないんだ。
僕はただ、君を愛していたいだけ。
君をしあわせへと導く、夢先案内人になりたいだけ....。

Marion マリオン

私は、本当の愛もしあわせもまだ知らない。
でも、あなたと出会って、勇気を与えられた。
銀幕の女優のように、素敵な人と恋をして、
夢のようなしあわせを手に入れる。
あなたに導かれていることすら気づかずに.....。

歓楽通り

RUE DES PLAISIRS

un film de Patrice Leconte

監督:パトリス・ルコント　脚本・台詞:セルジュ・フリードマン　撮影:エドゥアルド・セラ
美術:イヴァン・モシオン　編集:ジョエル・アッシュ　録音:ポール・レネ　ミキシング:ドミニク・エヌカン　スクリプト:マリー・ルコント　衣裳:クリスチャン・ガスク　メイク:ジュディット・ガヨ　音楽:エドゥアール・デュボワ　主題歌:[手のひらに書いてあったから/レティシア・カスタ](サウンドトラックCD:東芝EMI)　製作:フィリップ・カルカッソンヌ
ノベライズ:ソニー・マガジンズ　後援:フランス大使館文化部　協力:ロレアル パリ
[2002年フランス/35mm/カラー/シネマスコープ/ドルビーSRD/ディジタルDTSサウンド/91分]
配給・提供:松竹+メディア・スーツ+シネマパリジャン　共同提供:博報堂
「歓楽通り」Web-site http://www.cinemaparisien.com

3.1.(土)官能のロードショー

特別鑑賞券1,500円(税込)絶賛発売中
●劇場窓口でお買い求めのお客さまにポストカードのプレゼント

〈エールフランス　フリークエンスプラス・メンバーズのお客さまへの特典〉
フリークエンスプラスの会員の方には、メンバーズ・カードを劇場窓口でご提示いただければ、お一人様につき当日一般料金より300円引きでご覧いただけます。

AMO'S STYLE "歓楽通り"をイメージしたブラジャー&ショーツのセット「愛しい想いを伝えるブラ」を2/13より発売決定!【スペイン坂店/渋谷109-2店/原宿店/銀座店/銀座コリドー店/銀座INZ店/マイシティ新宿店/新宿東口店/川崎店】お問合せ:0120-104-667

Tada Metisha マリオンとプチ=ルイをフランスのお菓子ドゥミ・セックで表現した2つの味の詰め合わせ「RUE DES PLAISIRS」をBIGOT【自由が丘店/銀座プランタン店/鶯沼店/港南台店】にて発売!公開中、劇場でもお買い求めいただけます。

シネマライズ

渋谷公園通りパルコパート3前
www.cinemarise.com
tel. 03-3464-0051
11:00/13:00/15:00/17:00/19:00
当日料金:一般1,800円/学生1,500円
中・高校生1,000円/小人・シニア1,000円

川崎チネチッタ

JR川崎駅東口・京浜急行川崎駅中央口
cinecitta.co.jp
tel.044-223-3190
※上映時間は劇場までお問い合わせ下さい。
当日料金:一般1,800円/学生1,500円
小人・シニア1,000円